

暮らしをサポート

住まい確保の支援策

高齢者・障がい者・ひとり親・低所得者など住まい探しに困難がある方のため、総合相談窓口の設置、引越し費用助成、損害保険費用を区が負担するなど新規施策がスタート。

デジタル商品券発行

区専用のアプリを活用したプレミアム率10%のデジタル商品券を発行し、多くの区民に利用してもらうことで物価高の負担を軽減。



トイレトラックの活用

本年3月に23区で初めて導入したトイレトラックを区内の各種イベントに出動させ、区民に利用してもらう機会を提供することで防災性や有用性を周知・啓発。



朝の居場所と朝食支援

小学校の登校時間より早く家を出る共働き世帯の児童のため、7:30から学校に居場所を設置し朝食も提供。

可動式ドッグラン設置

多くの区民からドッグラン設置の要望を受け、区立公園に可動式ドッグランを開設。



●設置する公園と設置回数

しながわ中央公園・東品川海上公園	年12回
戸越公園・大井水神公園	年2回

お米の配布

希望する家庭に米を配布して学校給食のない夏休み期間に切れ目なく食を支援。(子ども1人あたり2kgを配布)



住まいの防犯対策助成の拡充

これまで防犯カメラと録画機能付きインターホンに限られていた補助対象を都の補助制度拡充を活用することで、センサーライトや防犯ガラスなど防犯グッズ全般に拡充。



児童発達支援センター開設

発達の遅れや障がいのある子どもが増加していることから、本年9月に区内2カ所目の大原児童発達支援センターを開設。



公共の場所での喫煙禁止条例

公共の場所での歩行喫煙の禁止から公共の場所における喫煙を禁止する条例に改正し規制を強化。

令和7年第1回定例会

代表質問・一般質問

- Q** 公明党の理念である「生命・生活・生存を最大に尊重する人間主義」の具体化として、所得や資産の多寡にかかわらず、医療や福祉、教育など人間が生きていく上で必要不可欠な公的サービスを、誰もが平等にかつ必要ときに受けることを目指すベーシック・サービスを提案している。所得制限などの条件を可能な限りなくし、負担は能力に応じて社会全体で分かち合う、「貯蓄ゼロでも不安ゼロ」の社会を目指すものである。区の考え方をお聞きする。
- A** 施政方針とベーシック・サービスの理念は一致するものである。誰もが必要なサービスを受けられる社会の実現に向け、分かち合いと連帯を重視した施策を推進していく。

区議会公明党の議会質問

- Q** 区内授乳室に搾乳ができることを示す掲示を求める。
- A** 搾乳が必要な方が授乳室を利用しやすいように、搾乳のマークの掲示など環境を整備する。
- Q** 若者の住宅支援策を検討するべき。
- A** 若者が抱えている課題やニーズを把握し、区の施策へ反映させていくよう検討を進める。
- Q** 介護サービスにベーシックサービスの導入を求める。
- A** ベーシックサービスの考え方を推進していくに当たっては、介護サービスもその対象として考えている。限りある財源を有効に活用する方策を考えていく。



決算特別委員会 総括質疑

- Q** 火災被災者が中長期で滞在可能な居室を常設で準備・確保することを求める。
- A** 従前居住者用住宅の空き室等の状況に応じて、受入れについてその都度、個別に検討する。
- Q** 現在空洞調査を実施している路線に加え、調査対象範囲の拡大を。
- A** 来年度以降、下水道管路のルート空洞調査の対象に追加予定している。下水道局と連携を図り進めていく。

- Q** 区立・私立幼稚園の給食費の無償化を提案する。
- A** 幼児教育の重要性は十分に認識しており、その充実は重要な課題の一つであると考えている。幼稚園の給食費無償化については、社会経済情勢の変化や国・都の動向を注視しつつ、積極的に情報収集を行い、区の実情に合った支援の在り方を総合的に検討する。



公明党の 区議会議員



若林 ひろき



こんの 孝子



塚本 よしひろ



あくつ 広王



つる 伸一郎



新妻 さえ子



ゆきた 政春

皆さまの声をお聞かせください。お気軽に、ご意見・ご要望をお寄せください。

電話 03(5742)6817

FAX 03(3774)3366

Eメール info@shinagawa-komei.org